

# 八田原ダムにおける防災操作による治水効果 (平成28年6月22日～23日梅雨前線)

平成28年6月22日の13時頃から強い雨となり（最大時間雨量20mm、総雨量86mm）、八田原ダムは洪水調節を行いました。  
 今回の出水で、芦田川沿いにある集落の唯一の道路が冠水し通行できなくなる恐れが生じたため、八田原ダムは6月23日5:30から、通常より多くの水をダムに貯める操作を行い、生活道路の冠水を防ぐことができました。

**この操作により通常の操作に比べて4.7倍の水をダムに貯めました。**

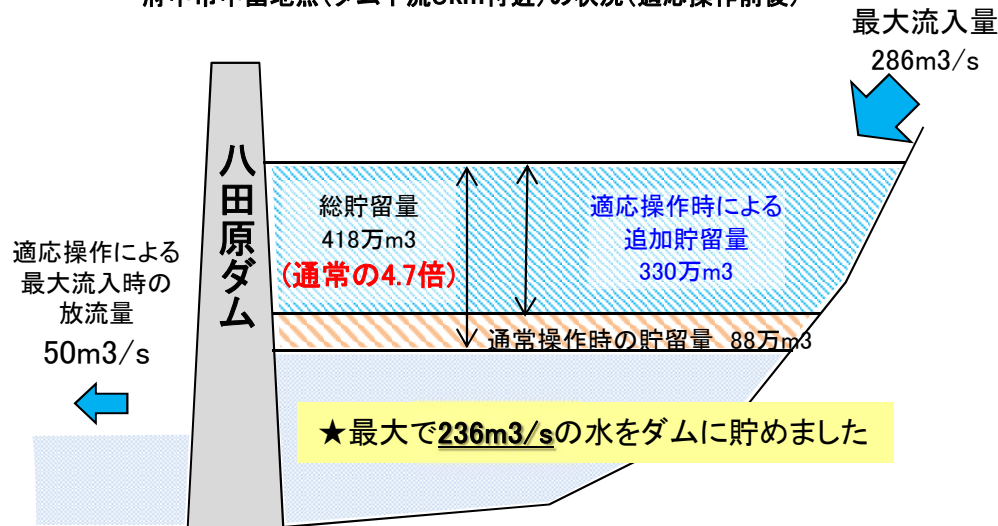
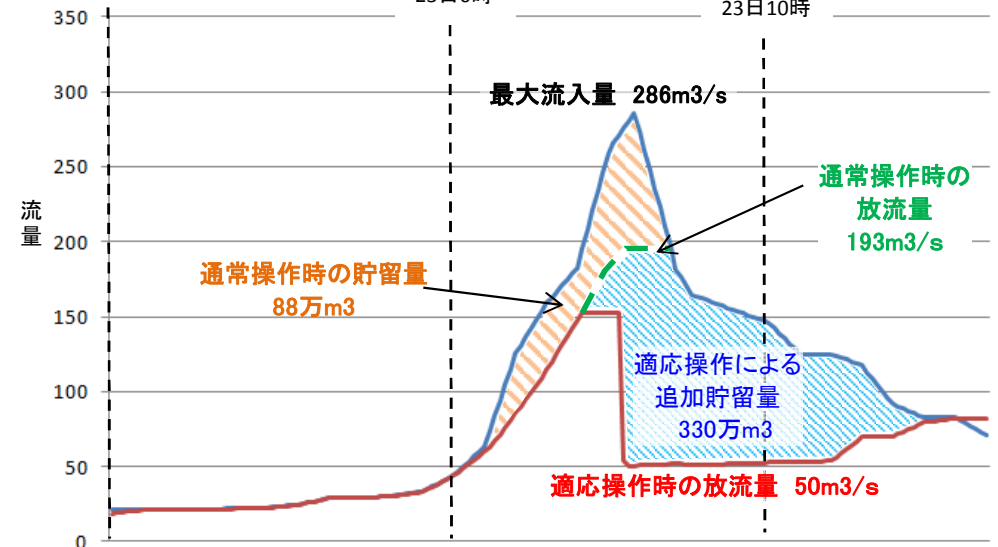
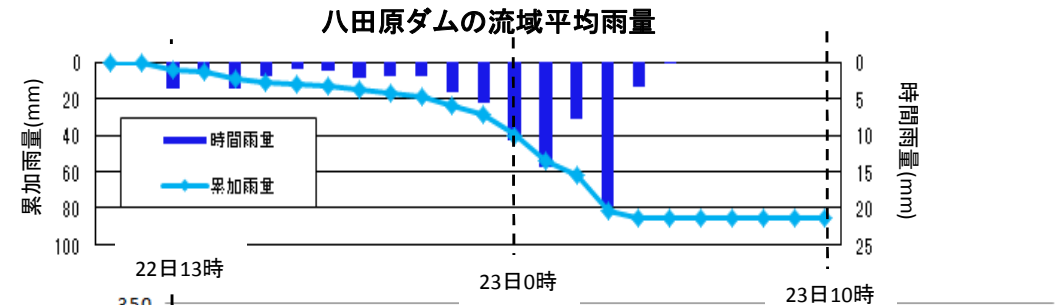
※適応操作とは、通常より多くの水を貯留し、下流に流す量を減らす操作です。ダム下流の河川の状況、今後の天候、降雨の予測、今後ダムに入ってくると予想される量とダムに貯留できる量などを検討して実施が判断されます。今後の雨が予測される場合や、多くの降水量が予想される場合は実施出来ません。

八田原ダム位置図



適応操作前(23日4:40頃)  
 (生活道が冠水寸前)  
 府中市 中畠地点(ダム下流9km付近)の状況(適応操作前後)

適応操作後(23日6:20頃)  
 (約70cm水位が下がり冠水を防ぐことができました)



ダム貯留図

八田原ダムの防災操作

※各数値は速報値であり、今後、変わる可能性があります。